

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議開催の回数が少ない。	まずは3回/年を定着させ、次に4回/年に増やせるようにする。	避難訓練や花見などの行事と同時開催にするなどして開催回数を増やすよう試みる。	12ヶ月
2	3	地元利用者が2名おられるため、地域との繋がりをさらに広げる好機である。この機会に、村内の方に認知症の方やグループホームへの理解を深めていただきたい。	地域の方と利用者の交流を深めることで、グループホームの暮らしぶりをアピールし、認知症の方への支援方法の手本となるように取り組む。	①村内や近隣地域の行事や施設に出かける機会をさらに増やす。 ②支援方法の手本となるようなケアを行えるよう、職員の意識向上のための社内勉強会を行う。	12ヶ月
3	11	職員の定着率が高く、慣れ合い気味の傾向にある。意見交換の場を作り、職員のスキルアップを図りたい。	職員同士の意見交換の場を作り、職員の視野を広げ自己覚知を促し、スキルアップに繋げる。	同業者との職員交流、定期的な社内勉強会の開催、外部研修及び自己評価などを行い、職員同士の意見交換の機会を作る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。